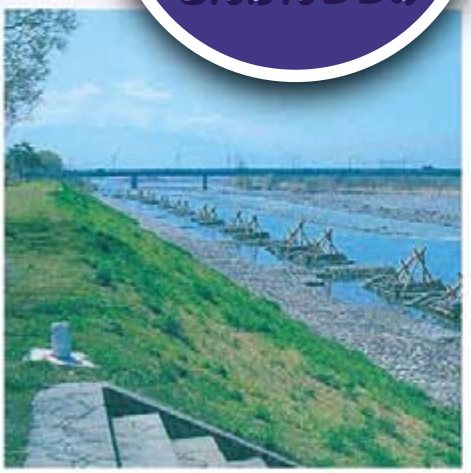
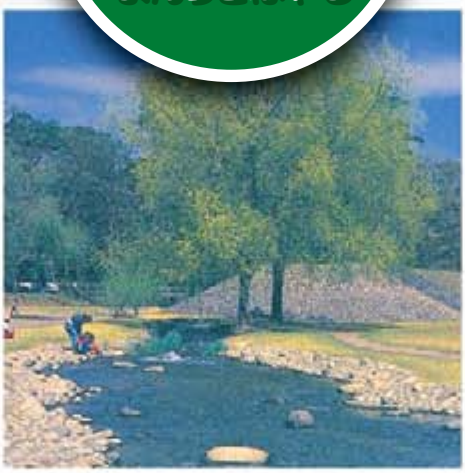
# ふるさとの川を見てみよう!!

## 富士川の洪水をふせぐ歴史的なしせつ

山梨県
**信玄堤**
しんげんづつみ



山梨県
**万力林**
まんりきばやし



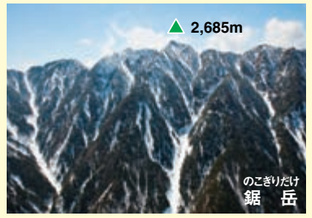
静岡県
**雁堤**
かりがねづつみ

国土交通省甲府河川国道事務所

# 富士川ってどんな川だろう?

ふるさとの川を見てみよう!!

富士川の源流




笛吹川の源流

## 富士川の長さはどれぐらいあるの?

富士川は長野県・山梨県・静岡県を流れていて
**全長は128km**もあるんだよ!

## 富士川はどこからはじまっているの?

山梨県と長野県の境に当たる
**南アルプスの鋸岳**(標高2,685m)から
はじまっているんだよ!

## 富士川はどこへ流れていくの?

釜無川と笛吹川が甲府盆地で合流して
**静岡県の駿河湾**へ流れていくんだ!

もくじ


■ 富士川ってどんな川だろう?…1ページ
■ 洪水の多かったちいき…2ページ
■ 甲府盆地を洪水から守る信玄堤…4ページ
■ 笛吹川のはんらんにそなえた万力林…8ページ
■ 産業・交通などの大切な場所を守る雁 堤…11ページ


## ものしりコラム

### 富士川の「流域」は3,990km²

「流域」:というのは、**降った雨が富士川に集まる地域**をいうんだよ。その面積を流域面積というんだ。

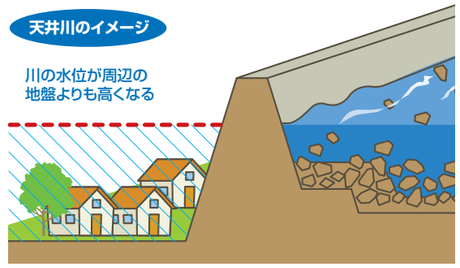
### 富士川は流れがとっても急な川!

**富士川**は、まわりを南アルプスなどの高い山に囲まれていて、流れが急な川なんだ。
富士川は、最上川(山形県)・球磨川(熊本県)とともに**日本三大急流河川**といわれているんだ。

### 甲府盆地を流れている「天井川」って知っている?

**甲府盆地**を流れる**釜無川・笛吹川**では**「天井川」**となっているんだ。

天井川のイメージ



天井川(釜無川)

# 洪水の多かった富士川

ふるさとの川を（富士川の洪水をふせぐ歴史的な施設）見てみよう!!

## 富士川の洪水をふせぐ歴史的な施設「信玄堤」「万力林」「雁堤」のある3つのちいきを見てみよう。



### 富士川の洪水の歴史

| じだい | ねんごう | できごと |
|---|---|---|
| 平安 | 天長 2年（西暦 825年） | 甲斐の国の川が大はんらん。 |
| 室町 | 天文11年（西暦1542年） | 釜無川・御勅使川がはんらんしたことをきっかけに武田信玄が川をおさめる工事にとりかかる。 |
| | 永禄 3年（西暦1560年） | 武田信玄が竜王に信玄堤を完成させる。 |
| 安土桃山 | 天正11年（西暦1583年） | 笛吹川の大洪水で万力の堤防が壊れる。堤防をもとにもどし、林をふやす。 |
| 江戸 | 元和 7年（西暦1621年） | 古郡重高が雁堤の工事を始める。 |
| | 延宝 2年（西暦1674年） | 雁堤が完成。 |
| 明治 | 明治40年（西暦1907年） | 富士川が大洪水。笛吹川もはんらんし、笛吹川本流の流れが変わる。山梨県内で9,597軒もの家がこわれる。 |
| 昭和 | 昭和10年（西暦1935年） | 富士川が大洪水。山梨県内で1,214軒もの家がこわれたり、水につかる。 |
| | 昭和34年（西暦1959年） | 富士川が大洪水。笛吹川の堤防がいくつもこわれる。山梨県内で12,204軒もの家がこわれる。 |
| | 昭和57年（西暦1982年） | 富士川が大洪水。1,201軒もの家がこわれたり、水につかる。 |

### 力を合わせて川とともに生きてきたちいき

富士川の流域は、古い時代から大雨が降るたびに川があふれ、洪水の被害にあってきたんだ。



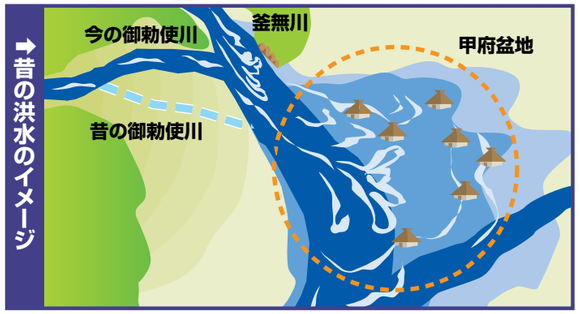
七面山の大崩れ



土砂とともに流れてきた岩

### あばれ川だった釜無川!!

釜無川が甲府盆地にさしかかるあたりで、南アルプスの山々から流れる御勅使川が流れこんでくるよ。釜無川と御勅使川からたくさんの土砂を含んだ川の水が水の量を増し、いきおいよく流れ込むことにより、甲府盆地はたびたび水びたしになっていたんだ!

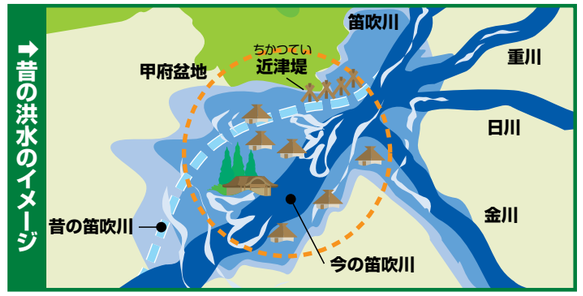



最近の災害のようす

昭和57年 信玄堤付近の洪水時のようす

### 何度もはんらんした笛吹川!!

笛吹川の「万力林」付近から重川・日川・金川が流れ込む近津堤付近にかけては、大雨が降ると水の量が増えた川がいっきに流れ込んだので、笛吹川の下流では洪水がおきやすかったんだ!

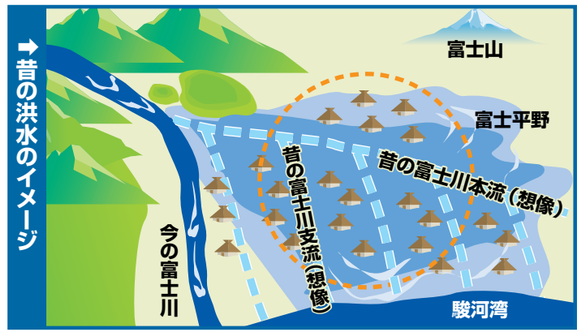



最近の災害のようす

昭和34年 万力林付近の洪水時のようす

### 富士平野をおそった富士川のはんらん!

大雨が降ると、山間部を流れる富士川が静岡県へ入り、いっきに流れだしたんだ。いくつかの筋に分かれていた富士川が流れこむ富士平野では洪水の被害がひんぱんに起こっていたんだよ。

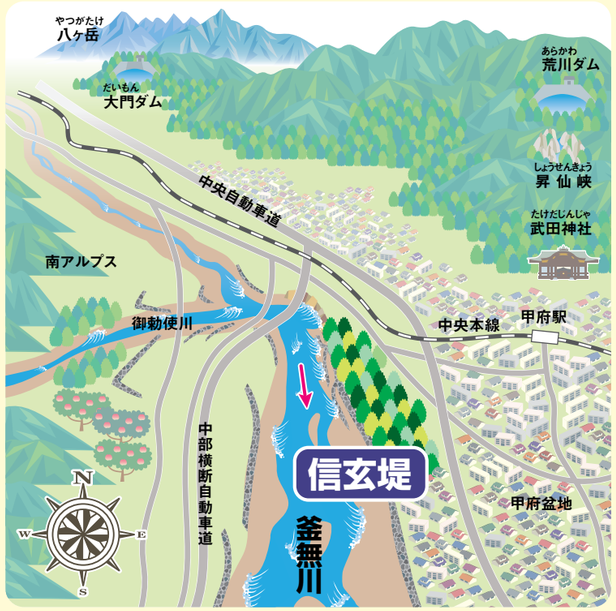



最近の災害のようす

昭和57年 雁堤付近の洪水時のようす

# 甲府盆地を洪水から守る信玄堤

現在の釜無川と御勅使川の流れ




## 今の信玄堤を見てみよう!!

「信玄堤」は、釜無川にそってつくられているよ。大きくカーブする釜無川に、さらに御勅使川が西から合流する地点にあるんだ。まさに甲府盆地を水害から守る大切な位置なんだよ。

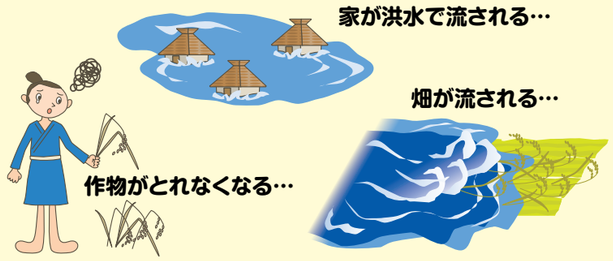
信玄堤公園

現在堤防の近くは親水公園として整備され、みんなが楽しむことができる場所になっているよ。

## どうして信玄堤はつくられたの?

### 洪水に悩まされた農民

釜無川は雨が降るとあばれだし、はんらんをくりかえしていたんだ。川がはんらんすると甲府盆地は水につかってしまったんだよ。農民たちは苦しい生活をおくっていたんだね。



### 川をおさめた武田信玄!

甲斐の国の領主
武田信玄

農民の生活に思い悩んだ甲斐の国の領主・武田信玄は、国を豊かにし安定したくらしができるよう努力したんだ。武田信玄は、一番大事な田畑を守るために水と戦い、川をおさめて田をふやし、作物がよくとれることを願っていたんだよ!

武田信玄はいちはやく釜無川と御勅使川に注目し、約20年のさい月をかけて川をおさめる工事を行ったんだ!

米をとれるようにしたい…

くらしを守りたい…

武田信玄はこれらのことを考えて国を豊かにしたんだね!

### 戦国時代のハイテク技術を使った「信玄堤」

川をおさめる技術は当時では「ハイテク技術」だったので、武田信玄と工事を計画した者だけにしか知らされなかったんだ。この最新の技術を使ってつくられたのが「信玄堤」だよ!

釜無川と信玄堤

信玄堤には木でつくられた牛ににた工作物があるよ。これは「甲州流河除法」のひとつ、「聖牛」といって川の流れを変えて、はんらんをふせぐのにとても効果的だったんだ!

信玄堤の聖牛

# 川をおさめる「ハイテク技術」ってどんなもの?

武田信玄は安定した国をきずくため、たびたび起きていた大洪水の経験から
次のような課題をあげ、「ハイテク技術」を使って当時のくらしを守ったんだ!

## 川をおさめるための5つの課題

1. あばれ川の釜無川をはんらんさせないしっかりした**「堤防をきずく」**。
2. 堤防がこわれないように、大洪水でも**「水の勢いを弱める」**工夫をする。
3. 御勅使川の激流が甲府盆地を直げきしないよう**「流れを弱め安定させる」**。
4. 釜無川、御勅使川が流す多量の**「土砂がたまらないよう」**工夫する。
5. 堤防のしくみが正しく機能するよう**「領民にも知らせ協力させる」**。

たくさんの石を積み重ねた頑丈な堤防。

石を積み重ねたもの。
まるで将棋の駒のような形をしていることから
こう呼ばれていた。

高さ14m～15mほどの自然の大きな岩壁。

武田信玄はどうやって
川をおさめたのか
順番に見てみよう!!

石積出し A
将棋頭 B
十六石 D
堀切 C
釜無川
高岩 E
現在の御勅使川
昔の御勅使川
前御勅使川
出し F
信玄堤（本堤） G
かすみ堤 H
甲府盆地

堤防を段ちがいにすることで
大水であふれた水を釜無川に戻す
役割をしている。

## 人の心をつかんで川をおさめた武田信玄

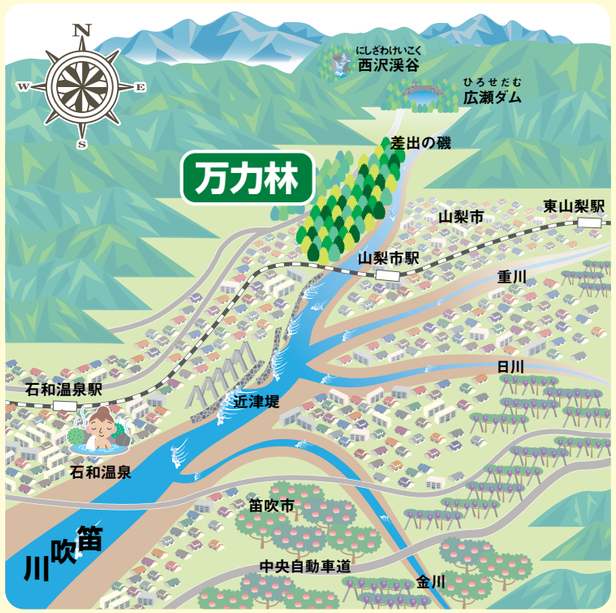
**おみゆきさん** 武田信玄は、信玄堤をはじめとしたしせつを守るために、三社神社を設けて、「御幸さん」と呼ばれる水防祭りを行ったんだ。神輿をかついで練り歩くことで堤防を踏み固め、領民に川をおさめることの重要性をわからせたんだね。

また、堤防を守る人たちには、税金（年貢）を免除していたんだ。
人々とのきずなを大切にすることで、いくさに強いだけでなく政治にもすぐれた戦国武将だったことがわかるね。

## 川をおさめるための「ハイテク技術」!

- **A** 御勅使川を安定させるために**石積出し**で水の向きを変えた。
- **B** **将棋頭**で御勅使川の流れを2つに分け、水の力を弱めた。
- **C** 台地を削って（**堀切**）御勅使川を流し、釜無川への新しい流れをつくった。
- **D** **十六石**（十六個の巨大な石）をおき、釜無川の主流を**高岩**へ向けた。
- **E** 釜無川と御勅使川を**高岩**にぶつけて水の力を弱めた。
- **F** 水の流れが直接堤防にぶつからないように**出し**で水の力を弱めた。
- **G** **信玄堤**（本堤）などの大きな堤防をつくった。
- **H** 大きな堤防でおさえるのではなく、堤防と堤防にすきま（**かすみ堤**）をつくり、大水であふれた水を洪水の後、釜無川に戻す工夫をした。

# 笛吹川のはんらんにそなえた万力林

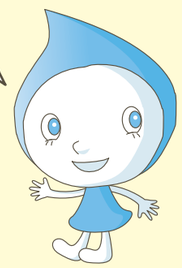



## 今の万力林を見てみよう!!

「万力林」は甲府盆地東がわの山梨市、平安時代の昔から和歌によまれた「差出の磯」の近くにあるんだ。

「西の信玄堤、東の万力林」とよばれ、甲府盆地の東がわを守る大切な場所だったんだ。

現在の万力公園



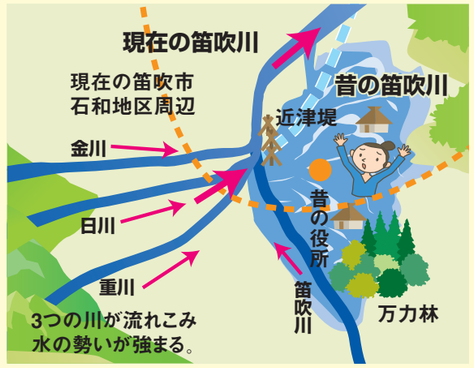
「万力林」は、赤松を主とした広い林。現在では「万力公園」として、おおくの人が憩いの場に利用しているよ。

## どうして万力林はつくられたの?

### 政治の中心地を守る万力林

笛吹川の「万力林」付近は、甲斐市の信玄堤と重川・日川・金川の3つの川が合流する石和の近津堤と並んで甲州の三大水難所といわれていたんだよ。

堤防が切れることが多く、ひとたび切れると現在の山梨市や古い時代甲斐の国の政治の中心地だった笛吹市、さらには甲府市にまでも達して大きな被害をもたらすことからこのようにいわれてきたんだ。



現在の笛吹川・重川・日川・金川の流れ

### 先人の苦労のあとが残る万力林!

信玄は、甲府盆地を水害から守るために盆地の西に信玄堤をつくるとともに、東の拠点としてこの場所に植林を行って洪水を防ぐ水害防備林をつくったんだ。これが「万力林」なんだ。

「万力林」は過去にあった大きな洪水から甲府盆地を守り、数百年もの間にわたって大切にされ、現在でも地元の人々を初め多くの人から見守られているんだよ!

万力林の中に残る古い時代の石積み堤

万力林（水害防備林）

### ものしりコラム

**扇状地ってなに?**

山から流れ出た川は平野に出ると勢いがなくなってたくさんの土砂をおいていく。そして、**川は流れを自由に変えながら、おうぎ型のなだらかな大地をつくるんだ。**人々はこの土地を田畑や集落に変えてくらしてきた。山に囲まれた山梨県には、こんな地形があちこちにあるんだ。

金川周辺の扇状地地帯

## 「万力林」はどうやって洪水をふせいでいるの？

### 笛吹川をおさめるための工夫！

- Ⓐ 大きくカーブしながら流れてくる笛吹川を**塔の山（差出の磯）**にぶつけて、水の力を弱め流れを中心へ向けた。
- Ⓑ あふれた水を**万力林**の中でためて、水の力を弱めた。
- Ⓒ **かすみ堤**で笛吹川に水をもどすという二重の工夫をした。
- Ⓓ 万が一笛吹川の流れが**万力林**からあふれた時のために**台地**にぶつけて、水がまちへ流れないようにした。



**塔の山（差出の磯）Ⓐ**

自然の地形を利用した岩山。昔から景色のよい場所として知られた。



**雁行堤**

石で積み重ねた小さな堤防で、万力林の中におかれていた。



**台地Ⓓ**

万力林からあふれた水をガードした。



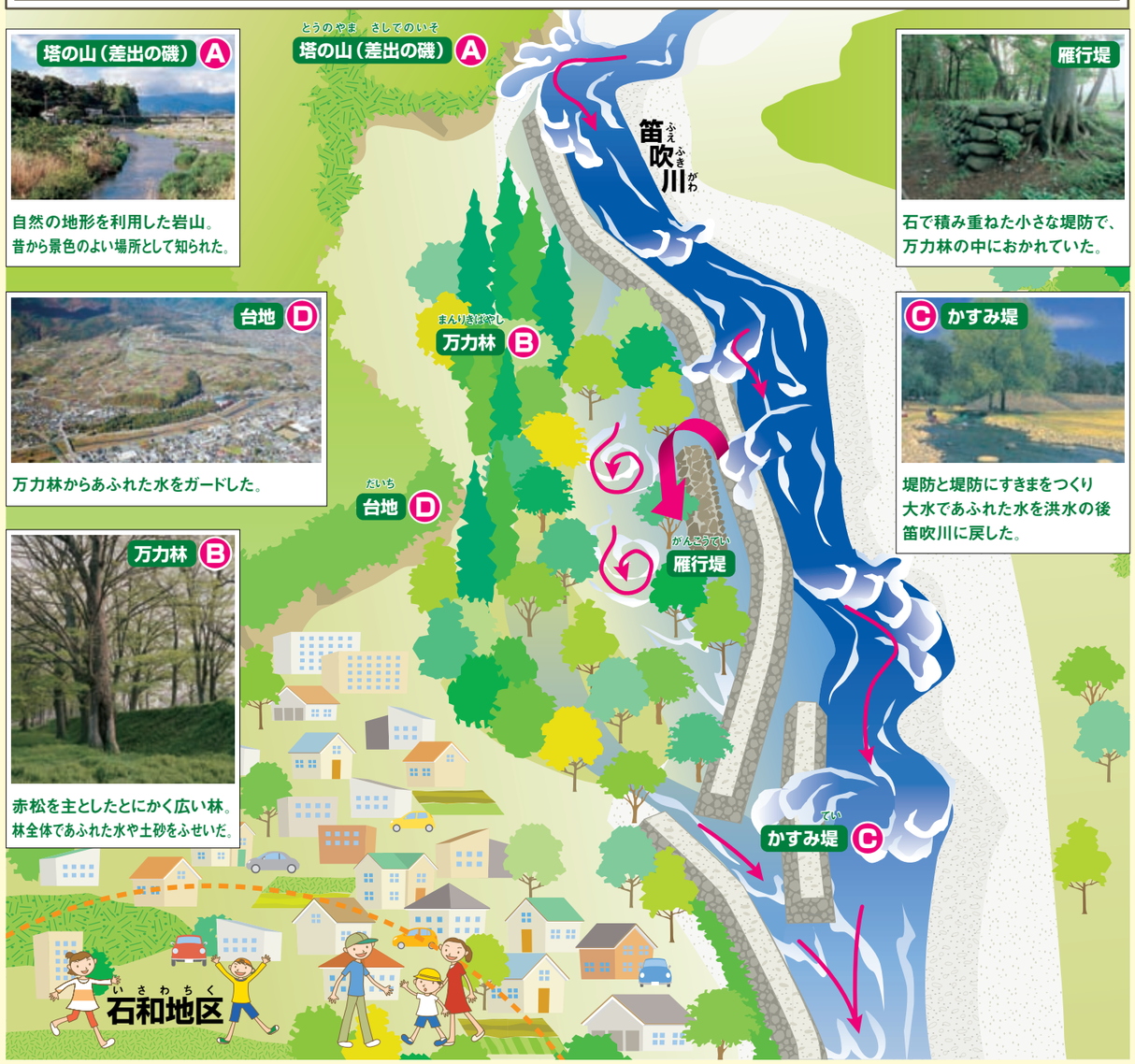
**Ⓒ かすみ堤**

堤防と堤防にすきまをつくり大水であふれた水を洪水の後笛吹川に戻した。



**万力林Ⓑ**

赤松を主としたとにかく広い林。林全体であふれた水や土砂をふせいだ。



### 今の雁堤を見てみよう!!

「雁堤」は、富士平野を洪水から守るために江戸時代の初めにつくられたんだよ。**独特のかたちをした堤防**で、工場や住宅がたくさんある人口約26万人もの人々がくらす富士市にあるんだ。

「雁堤」の近くには新幹線や東名高速道路が走っていて、昔から東海道でにぎわった**交通の大切な場所**だったんだ。

# どうして「雁堤」はつくられたの?

## 雁堤ができる前の富士川

富士川は長い歴史の中で何度か流れを変え、岩本山から広がる平野で移動をくり返していたんだよ。平安時代には、現在の富士市にあたるちいきも富士川が流れていたそうだよ。
江戸時代の初め頃まで富士川の流れはいくつかの筋に分かれていたんだよ!

## 富士川と戦い、雁堤をつくった古郡氏

雁堤がつくられたのは江戸時代の初めのこと。
当時の徳川幕府は田畑を広げることに力を入れていたんだ。代々、このちいきを中心に活躍してきた豪族・古郡氏は、幕府の方針に従い、初代古郡重高が「一番出し」、「二番出し」をつくることから雁堤の工事は始まったんだ。2代目古郡重政の時代には、雁堤本堤の工事にとりかかり、3代目古郡重年の時代に約50年のさい月をかけて1674年に雁堤は完成したんだよ!雁堤には自然を利用した知恵と工夫があるんだね!

古郡氏父子三代の偉大な事業
- 古郡重高
- 古郡重政
- 古郡重年

## ものしりコラム

### なぜ、雁堤(かりがねづつみ)というの?

ひとつの巨大な堤防で水を防ぐのではなく、いくつかの堤防を位置や角度をよく考えて配置し、あばれ川を抑えようと工夫したんだ。これらの堤防の集まりを高いところから見下ろすと、まるで、空を飛ぶ雁の群れのようにW型に見えるからなんだよ。

W型に群をつくって飛ぶ雁



# 「雁堤」はどうやって洪水から富士平野を守っているの?

## 富士川の水を安全に流すしくみ!

- Ⓐ 富士川の流れを岩本山の岩にぶつけて水の力を弱めて、向きをかえた。
- Ⓑ 水の流れが直接堤防にあたらないように出しで水の力を弱めた。
- Ⓒ 出しで弱めた水の流れを90間堤防にぶつけ富士川の流れを中心へ向けた。
- Ⓓ 雁堤本堤に水をためることで水はうずをつくり自然と流れを弱める。
- Ⓔ 水の流れが直接雁堤本堤にあたらないように備前堤・新備前堤・柳堤で水の力を弱めた。
- Ⓕ 雁堤本堤の前面に聖牛をおき水の力を弱める。

# ふるさとの川を見てみよう!!

富士川の洪水をふせぐ歴史的なしせつ

山梨県 信玄堤 しんげんづつみ

山梨県 万力林 まんりきばやし

静岡県 雁堤 かりがねづつみ

国土交通省甲府河川国道事務所

〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘1-10-1　☎055（254）6571

http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/